

「外国人雇用状況」の届出状況(平成27年10月末現在) 【概要版】

岡山労働局

1 外国人労働者の状況

労働者全体の状況について(別添3-表1)

- 外国人労働者数は8,884人。前年同期比で724人(8.9%)増加した。

【増加した要因】

- ベトナム、フィリピン、インドネシアからの技能実習の増加及びベトナムからの資格外活動「留学」の増加が考えられる。

○ 国籍別の状況(別添3-表1)

- 中国 3,750人(全体の42.2%) [前年同期比9.3%減少]
- ベトナム 1,922(同 21.6%) [同71.8%増加]
- フィリピン 787人(同 8.9%) [同26.3%増加]
- インドネシア 497人(同5.6%) [同30.1%増加]
- ブラジル 386人(同 4.3%) [同 1.3%減少]
- 特に、ベトナムは前年同期比で803人増加しており、大幅な増加となっている。
また、インドネシアがブラジルを上回ったため、公表項目に追加した。

○ 在留資格別の状況(別添3-表1)

- 専門的・技術的分野 1,267人 前年同期比で83人(6.1%)減少。
- 技能実習 4,478人 前年同期比で362人(8.8%)増加。
- 資格外活動(留学) 1,030人 前年同期比で238人(30.1%)増加。

<参考>

○ 都道府県別の状況(別添3-表2)

- 東京 276,909人(全体の30.5%) [前年同期比21.0%増加]
- 愛知 94,698人(同10.4%) [同12.0%増加]
- 神奈川 51,854人(同 5.7%) [同10.5%増加]
- 大阪 45,838人(同 5.0%) [同13.6%増加]
- 静岡 40,376人(同 4.4%) [同6.3%増加]
- 上位5都府県で全体の半数を超える。
- 岡山県は、20番目 8,884人(全体の1.0%) [同8.9%増加]

2 事業所の状況

事業所全体の状況について(別添3-表4)

- ・ 外国人を雇用している事業所は1,502か所。
前年同期比で105か所(7.5%)増加。

【増加した要因】

- ・ 製造業を中心に、技能実習及び資格外活動「留学」を活用する事業所の増加が考えられる。

○ 事業所規模別の状況(別添3-表8)

- ・ 事業所数では「30人未満事業所」が最も多く、事業所数全体の50.5%を占めているが、外国人労働者数では「100～499人事業所」が最も多く、外国人労働者全体の31.4%を占めている。

<参考>

○ 都道府県別の状況(別添3-表2)

- ・ 東京 41,788か所 (全体の27.4%) [前年同期比12.6%増加]
- ・ 愛知 12,242か所 (同8.0%) [同9.6%増加]
- ・ 神奈川 9,894か所 (同6.5%) [同11.1%増加]
- ・ 大阪 9,617か所 (同6.3%) [同7.9%増加]
- ・ 埼玉 6,605か所 (同4.3%) [同15.4%増加]
- ・ 上位5都府県で全体の半数を超える。
- ・ 岡山県は、19番目 1,502か所(同1.0%) [同7.5%増加]

3 産業別の状況

- ・ 外国人労働者、外国人労働者を雇用する事業所ともに、製造業が最も多い。
- ・ 製造業は外国人労働者を雇用する事業所全体の46.1%、外国人労働者数全体の55.4%を占めている。
- ・ 製造業の構成比は前年に比べ減少。
一方で、建設業、卸売・小売業、飲食サービス業、宿泊業の構成比は増加。

4 派遣・請負の状況

- ・ 外国人労働者を雇用している事業所のうち、労働者派遣・請負事業を行っている事業所数
 - ・ 47か所(事業所全体の3.1%)
 - ・ 前年同期比で5か所(11.9%)増加。
- ・ 労働者派遣・請負事業を行っている事業所に就労している外国人労働者数
 - ・ 552人(外国人労働者全体の6.2%)
 - ・ 前年同期比で192人(53.3%)増加。